

さいとう歯科医院

■事業

歯科用CT導入による根管治療の高精密化と
インプラント治療時短化の実現

■対象類型

ものづくり技術

■導入機械装置

オーソフォスSL3Dプラス一式、PSピックス2

「口は命の入り口、心の出口」
患者一人一人に応じた歯科医療を

経営理念【コンセプト】

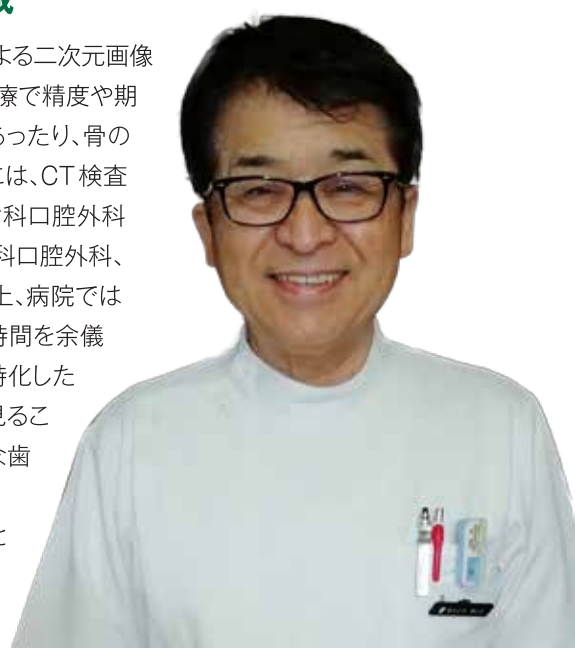
- 1 人生90年時代に、みなさまのお口の健康から始めるアンチエイジングをご提案いたします。
- 2 最新の医療について常に勉強し、みなさまに最適な治療をご提供できるように努力いたします。
- 3 お口の状態・治療目標・治療方法について情報を共有し、みなさまとのコミュニケーションを大切にして診療を進めます。

食べ物を咀嚼するだけでなく、異物を取り除いたり、発音を助けたり、表情を豊かにしたり——。さまざまな役割を持つ歯。出雲市内で約35年、地域住民の歯の健康をサポートし続けている、さいとう歯科医院の齋藤誠院長は、「『口は命の入り口、心の出口』とされています。それほど口は重要なのです」と話す。必要な口腔ケアは人によって異なる。一人一人に必要な歯科医療を届けようと1992年から訪問診療を開始、2000年からはニーズがあったにも関わらず地域に受け皿がなかった審美歯科に力を入れ始めた。かみ合わせや矯正、金属を使用しないオールセラミックスなどの総合的治療で、美しさも兼ね備えた口元の健康美を提案している。特に、人工歯根で歯を再生する「審美インプラント治療」は強みの一つだ。失ってしまった歯の見た目と機能を取り戻す治療法には高度な技術を要するが、同院は着実に実績を積み重ねてきた。

歯科分野に特化したCT導入で
治療期間短縮、被ばく量も軽減

しかし、従来のデジタルパノラマレントゲンによる二次元画像診断では、インプラント治療や難治性の根管治療で精度や期間に課題があった。たとえば骨の中に病気があったり、骨の状態を詳しく調べる必要があったりする場合には、CT検査を行う必要があるが、これまでは総合病院の歯科口腔外科に検査依頼するしか方法がなかった。患者と歯科口腔外科、放射線診療部の3者による日程調整が必要な上、病院ではCT機器を全科が使っているため長期の待ち時間を余儀なくされていた。そこで2017年、歯科分野に特化したCT機器を導入。最大で肉眼の20倍拡大して見ることのできるマイクロスコープと連携し、高精度な歯科治療システムを構築した。

一般の医科用CTに比べ、歯科用CTは歯と顎骨だけを見られれば良いため撮影時間が短く、その分被ばく量も大幅に抑えることができ



院長 齋藤 誠

☒ものづくり技術 ☐革新的サービス


- 1 高精度な歯科治療システムを可能にした歯科用CT
- 2 導入したCTで顎骨や歯の3次元高画質高画像を撮影
- 3 パソコンソフトに取り込まれたCT画像



る。また従来はCT検査を受診するのに最低2ヶ月はかかっていたのに対し、歯科用CT導入後は長くて2週間以内に撮影が可能になり、患者の負担が大きく軽減された。

インプラント治療の精度が格段にアップ
フルデジタル化に向け、技術力磨く

インプラント治療の精度も格段に上がった。撮影したCT画像と型取りした模型をソフトウェアで重ねることで新しい歯冠を高精度に配列、患者に合った歯冠補綴物(欠損した歯を人工的な詰め物やかぶせ物で修復するもの)をシミュレーション。さらに設計したデータを3Dプリンターで出力して、プラスチック製のマウスピース「サージカルテンプレート」を作成。既に穴が開いているサージカルテンプレートを患者の口の中に固定して作業するため、設計通り正確に穴を開けることができ、歯肉を切ることなくインプラント手術を仕上げるのが可能になったのだ。治療期間の短縮と、精度向上の両面で患者の満足度向上を実現した。「今後歯科治療はよりフルデジタルになっていきます。それに対応できる技術をより磨き、難しい治療を高精度に行える歯科医として精進したい」と齋藤院長は、意気込みを語る。

■Company Data

さいとう歯科医院



さいとう歯科医院

代表者名：齋藤 誠
開業年月日：昭和60年4月1日
従業員数：4人
主たる業種：医療業
本社：〒693-0024
島根県出雲市塩冶神前6-4-9
電話：0853-22-4180
FAX：0853-24-1782
URL：http://www.saito-dc.info/